

百舌鳥のまちかど いま・むかし

百舌鳥川は昔、放生川

百舌鳥川は昔より百舌鳥八幡宮の秋祭りのときに、この川でお稚児さんが稚魚を放つ放生会を行っていたことから「放生川」と呼ばれており、地元の人はいまもこれをなまべて「ハセ川」と呼んでいます。

※放生会

月見祭の日に稚児約80名により境内の放生池に稚魚を放ち、生き物の成長を祈る神事。



放生会のようす

かみくさ 髪瘡様

陵南町の北端に「髪瘡様」と呼ばれる小さいお堂があります。伝承では、神功皇后がこの地に立ち寄った際、皇子の瘡を治そうと祈ったところ、こんこんと清水が湧き出し、この清水を浴びた皇子の瘡が癒されたと伝えられています。

以来、この清水は皮膚病に効くと語り継がれ人々は「髪瘡様」を信仰してきました。現在でも髪瘡保存会の方々が大切に語り継いでいます。



髪瘡様のお堂（百舌鳥陵南町）

いたすけ古墳

いたすけ古墳は百舌鳥古墳群中8番目の大きさです。昭和30年(1955年)頃、住宅造成などのため破壊寸前だったところ、市民の運動で守られました。



いたすけ古墳のためぎ

そのため、いたすけ古墳から出土した「衝角付冑型埴輪」(堺市指定有形文化財)は、堺市の文化財のシンボルマークになっています。住宅造成のために架けた橋が朽ち、そこに野生のたぬぎが住み着いていることで有名です。



支援学校とまちづくり

百舌鳥支援学校は昭和35年(1960年)に堺市養護学校分校として始まり、知的障がい児の発達、自立と社会参加をめざす教育で、子どもと保護者地域の信頼を築いてきました。近隣の学校などとの交流や、堺市内支援学級への応援など、支援教育支援教育センターの役割を果たしています。



百舌鳥支援学校C棟校舎

障がい配慮し、すべての人にやさしいまちづくりの努力が続いています。

百舌鳥八幡宮月見祭

百舌鳥八幡宮秋祭りは、仲秋の名月に当たる旧暦8月15日に近い土・日曜に行われるため「月見祭」と呼ばれています。300年以上も続いている伝統行事で、今のふとん太鼓になる前は地車祭りだったそうです。

本殿前の階段を担ぎ上がってくる勇壮美しいふとん太鼓の姿は息を飲むほどの迫力で、毎年、大勢の観客が百舌鳥八幡宮の境内に詰めかけます。



ふとん太鼓

南海高野線 中百舌鳥駅

南海高野線 中百舌鳥駅は高野登山鉄道当時の大正元年(1912年)に開業しました。昭和45年(1970年)には従来の位置から北側に移設されて橋上駅舎となり、翌年の泉北高速鉄道開業(当時は中百舌鳥駅～泉ヶ丘駅間)と同時に相互直通運転を開始しました。



建設中の中百舌鳥駅(昭和45年頃)と現在の比較

法華寺の鬼子母神像

鬼子母神は、子育て・安産の神として篤く信仰されていますが、もとは他人の子を取って食らう鬼で、釈迦が彼女の子を隠して、子を失う母の悲しみを悟らせ、仏教に帰依させたといわれています。

穏やかな天女の姿で祀られることも多い鬼子母神像ですが、法華寺のものは悪鬼の姿をしており、昔の子どもは「ケシモ(鬼子母)さんは子どもの頭をかむ」と怖がったそうです。



鬼子母神立像
(陶製で非常に珍しい)

もずしょうじん 百舌鳥精進

百舌鳥地方には代々受け継がれてきた「百舌鳥精進」という伝承があります。これは年末より正月3日まで、豊作をもたらす歳神様や祖先の神様をわが家にお迎えするため、家掃除や門松、しめ飾りと同様心身を清めるために食事動物性の食材や調味料を除いた精進食で正月を過ごすというものです。

戦前までは百舌鳥の住民のほとんどが行い、全国的にも珍しい風習と言われました。



高林家の百舌鳥精進

中百舌鳥総合運動場

中百舌鳥総合運動場は、南海電鉄が昭和12年(1937年)に創業50周年事業として開設し、戦前・戦後のスポーツ界に大きな貢献をしました。

中百舌鳥陸上競技場も総合運動場内にあり、全国大会が開催されたこともありますが、昭和44年(1969年)に廃止。跡地には団地や中百舌鳥小学校などが建設されました。



中百舌鳥総合運動場(昭和20年代)

訪ねよう 高野山へ続く西高野街道 (十三里石～九里石)

諸説ある西高野街道の起点のうちのひとつ



①大小路筋標石 (堺市堺区市之町西)

樹齢800～1000年 府指定の天然記念物



③百舌鳥のくす (堺市北区中百舌鳥町)

関所や茶屋があったことが地名の由来



⑤関茶屋・十二里石 (堺市東区関茶屋)

里石建立の発起人の出身地、茶萐木村に建立



⑩十里石 (大阪狭山市茶萐木7丁目)

安倍晴明が「掛書」を埋めたと伝わる



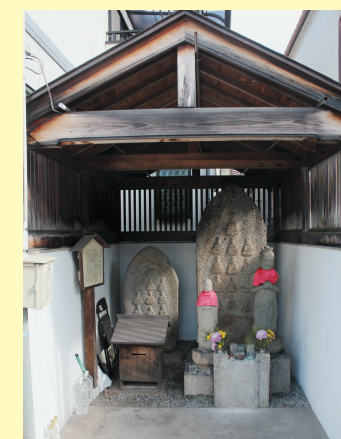
⑫晴明塚 (河内長野市原町)

左が西高野街道、右が中高野街道

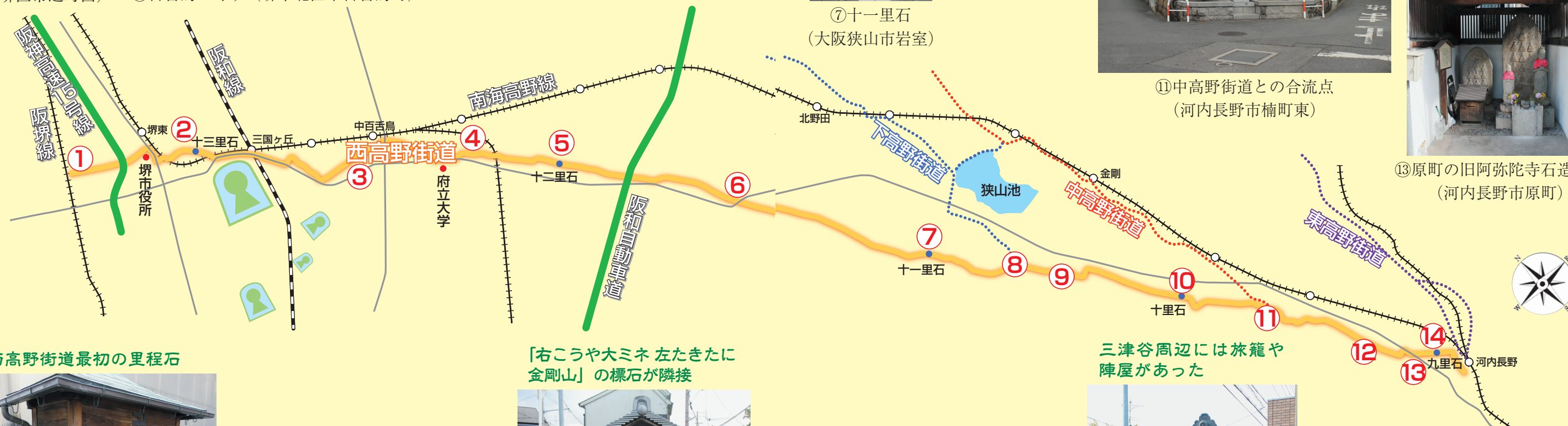


⑪中高野街道との合流点 (河内長野市楠町東)

河内長野市の指定民俗文化財



⑬原町の旧阿弥陀寺石造物群 (河内長野市原町)



西高野街道最初の里程石



②十三里石 (堺市堺区榎元町)

街道沿いの公園 花菖蒲で有名



④白鷺公園 (堺市東区白鷺町)

「右こうや大ミネ 左たきたに 金剛山」の標石が隣接



⑥延命地藏尊 (堺市中区福田)

金剛山などが望める素晴らしい眺望



⑧おわり坂 (大阪狭山市今熊1丁目)

三津谷周辺には旅籠や陣屋があった



⑨三津谷地藏尊 (大阪狭山市茶萐木3丁目)

この先も 高野街道は高野山女人堂まで続く

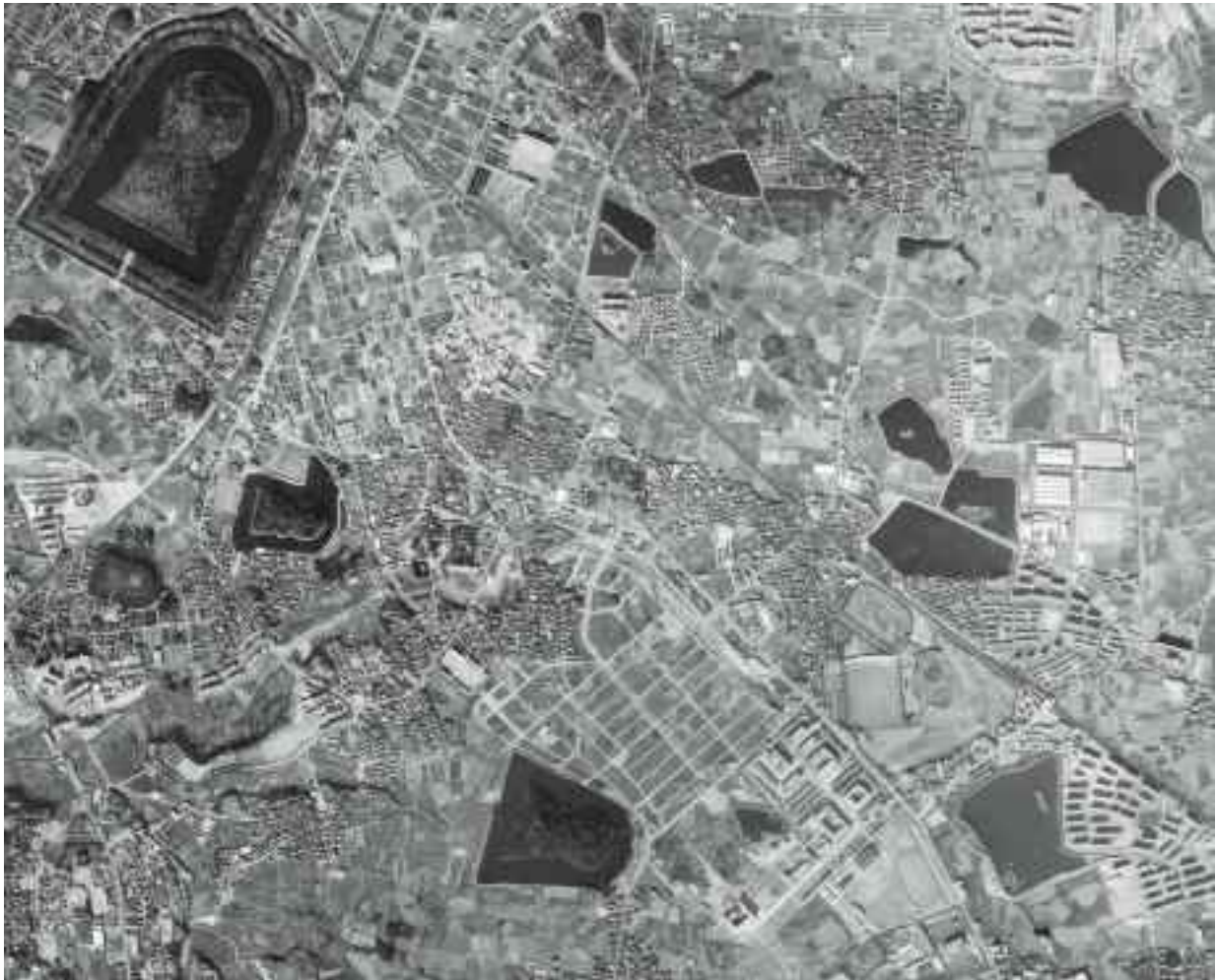


⑭行者堂・九里石 (河内長野市古野町)

西高野街道と百舌鳥 散策 MAP



さあ！西高野街道・百舌鳥の
地域探索に出かけよう！



(「昭和42年(1967年)の百舌鳥地域周辺」国土地理院発行KK669Y-C6-4)

北区では、ゆたかな地域コミュニティづくりをめざすため、まちの歴史と文化を学び、わがまちへの愛情と誇りを育む取組を進めています。

この探訪マップは、平成27年度の北区歴史探索事業の一環で、地元の社寺や研究者、堺市文化財課などの協力を得、また以下の文献を参考(一部を引用し)に作成しました。どうか有効にご活用いただき、当地区の歴史・文化に触れるとともにお楽しみいただければ幸いです。

〈参考文献〉

- ・横山 豊『西高野街道に遊ぶ』(2009)
- ・百舌鳥梅町伝承委員会『もずの梅町ふるさと話』(2005)
- ・山中 金治『陵南・北条町沿革史』1980年



西高野街道を練り歩くふとん太鼓
(昭和51年(1976年)頃)